

# THE 1983 7 KOBECOCO

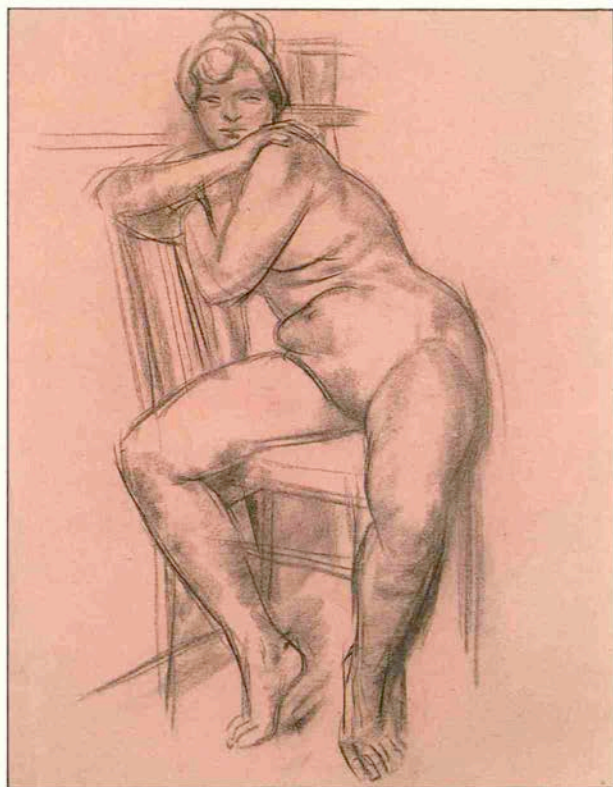
JULY No. 267

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

昭和58年7月1日印刷 通巻267号

昭和58年7月1日発行 毎月1回1日発行



83 BENIYA BRILLIANT MODE

# 夏に迫まる。

ミニや、ショーツ、

ノースリーブやオフショルダー、

夏はセクシーラインの黒白を

はつきりとつけるのがセオリ―

セクシャルであることが

隠された個性を

キラリ輝やかせます。

ヘビニヤサマーコレクション、

よりセクシヤスにセンシヤスに、

それこそ胸にキューンとせまる

センセーションな展開です。

*Beniya*  
the better to know of the better to know the better to know



 **BENIYA**

KOBE・OSAKA・TOKYO

本店/神戸市中央区三宮センター1丁目ニューセンター1F・2F ☎332-2135

A close-up portrait of a woman with dark hair, wearing a large, wide-brimmed white hat. She is looking slightly downwards and to the side. She is wearing a multi-strand pearl necklace. The background is a soft, out-of-focus light color.

あなたは真珠の輝きに酔い、

男はあなたの輝きに酔う。



 田崎真珠



さあ、夢の国、幸せの国へ……

この夏、ファミリーで飛び立とう

# 東京ディズニーランド®

月刊神戸っ子企画

1泊2日

## 空の旅

夢と魔法の王国  
ディズニーランド 5つの国

楽しい食事と買い物

1. ワールドバザール

宇宙と未来の国

2. トゥモローランド

夢と童話の世界

3. ファンタジーランド

西部開拓時代のアメリカ

4. ウェスタンランド

冒険とロマンの国

5. アドベンチャーランド

### ● 旅行日程

● 第1日 大阪空港(07:30頃)——日本航空102便——羽田空港(08:30頃)  
貸切バス・東京ディズニーランド——貸切バス——東京都内(泊)

● 第2日 出発までフリータイム(各自羽田空港集合)  
羽田空港(19:30頃)——日本航空125便——大阪空港(20:30頃)

● お問い合わせ、お申し込み——神戸市中央区東町113-1 大神ビル7F  
月刊神戸っ子 ディズニーランド係 ☎078-331-2246

● 企画——月刊神戸っ子

● 協力——日本航空

● 旅行主催——阪急交通社

- 出発日 7/30(土) 8/6(土) 8/13(土) 8/20(土) 8/27(土)
- 募集人員——各出発日40名(計200名)
- 旅行費用

	7月30日・8月27日出発	8月6日・13日・20日出発
大人(12才以上)	48,500円	43,500円
小人(6才~11才)	45,000円	40,000円
幼児(3才~5才)	29,500円	29,500円

※幼児料金は航空機・バス座席及び、ビッグ10の入場料金のみ含みます。

※食事は2日目のホテルでの朝食のみ含みます。

※東京ディズニーランドではビッグ10でお楽しみいただきます。

**ビッグ10**

神戸っ子ツアー東京ディズニーランドの  
旅は、アトラクション券(乗物券)10枚付の  
入園券(5,250円相当)で思いきりお楽しみいた  
きます。



### ● 利用ホテル

ホテルニューオータニタワー  
(7月30日、8月27日出発)

ホテルグランドパレス  
(8月6日、8月13日出発)

ホテルオークラ  
(8月20日出発)

スケッチブックから<55>

● ヨーロッパを描く

パリ バスのりば



絵・西村 功



夏!! エアロビクスダンスでシェイプアップ!!



ジャズダンス

ステージ  
ジャズダンス

エアロビクス

お気軽にご見学下さい。

生徒募集中!!

入会金=5,000円

受講料=月4回▶6,000円

月8回▶8,000円

月12回▶10,000円

フリーコース▶15,000円

高木スタジオKOBÉ

三宮センター街西角ファミリアビル5F ☎078(331)7997

★申込受付はAM11:00~PM7:30<年中無休>

テレビ、舞台で人気No.1  
ギャラクシー&ダンディーズ

と踊りましょう!

と き / 8月20(土)21(日)

と ころ / 京都スタジオ

(河原町ブチモンドヨウチャン)

☎075(255)1520



須山 邦明

20(土)公開レッスン  
21(日)ジャズダンスコンテスト

フランス料理とヨーロッパコーヒー

# 塩屋異人館倶楽部



国鉄塩屋駅西へ300米国道2号線沿い南側 料理長 湊 良男  
☎(751) 2386 塩屋異人館倶楽部ガーデンにて

## 'La plage du soleil' 塩屋の海は 太陽がいっぱい



フランス味の旅、

行き交うヨットやクルーザーの群のかなたに淡路島や遠く瀬戸内の島々が望まれる眺め。文豪サマセット・モームがこよなく愛した海峡のたたずまい。港に面したカフェやレストランに憩うひととき。碧い空と海、ページ色のきめ細かな砂浜があなたをお待ちしています。エレガントでシックな渚のレストランで、フリュイ・ド・メールに舌鼓を打つと、心は遠くコート・ダ・ジュールに遊びます。パリ祭 la Fete Nationale le 14 juillet にちなんで特別メニューを準備致しました。

姉妹店 シーサイドクラブパレス 塩屋



SEA SIDE CLUB  
PALACE  
**SHIOYA**

塩屋異人館倶楽部・西へ80米 ☎(753) 1373



**MINAMI INTERNATIONAL CO., LTD.**

神戸市中央区浜通5丁目1-14 ☎(232) 1301



波  
打  
際  
に  
光  
る



K18ダイヤ入り  
ブローチ・ペンダント兼用

Tajima  
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表



# 神戸発のパワフルな歌声

——新井 雅代（ボーカリスト）

カメラ・米田定蔵

「これからは歌手生活一本に絞って、全力投球したい」と意欲をみせる新井雅代さん。昨年、テレビドラマ「人情紙風船」のテーマソングを歌い、スポットライトを浴びたが、学生生活との「兼業」で、いま一步ノリが悪かったようだ。今春、松蔭女子学院大学を卒業、また5月には3枚目のシングル「あなたが欲しい」（ディスコメイトレコード）を出し、いよいよこれからが本番といえる。

父親の仕事の関係で、海外生活の経験もある。「いろいろな所へ行きましたが、暮した期間も長く、高校、大学と多感な時代を過ごした神戸が一番好き。なぜかフィーリングがあうんですよね」と神戸を語る。

これまででは、ライブハウスを中心に活動してきたが、今後は、優れたアーティスト達とのジョイントも積極的にこなし、オリジナルな歌の世界を創り上げていきたいそうだ。当面は、関西に重点をおいた活動となる。

「今まで自分が楽しければ良いという所がありました。これからはお客様にじっくり聞いていただける存在感あふれるボーカリストになりたい」と言う新井雅代さんのパワフルで、歌唱力抜群の歌声は、大いに楽しみだ。7月30日には24歳に。須磨区在住。

（東遊園地にて）





*Beautiful eye*  
●わたしとメガネ

## 「検眼」

有澤 武

(兵庫県眼科医会会長)

これは、医師にのみ許された行為です。

めんどうでも、眼科医によって目の異常の有無の検査後「眼鏡処方箋」を書いてもらって、これを優秀な技術をもった眼鏡専門店で、機能性、センス、ファッション性のアドバイスを加味しての眼鏡調整をしてもらえば、それこそ、「生きたメガネ」になるといえます。

**服部メガネ**

神戸・大丸前

☎(078)331-1123

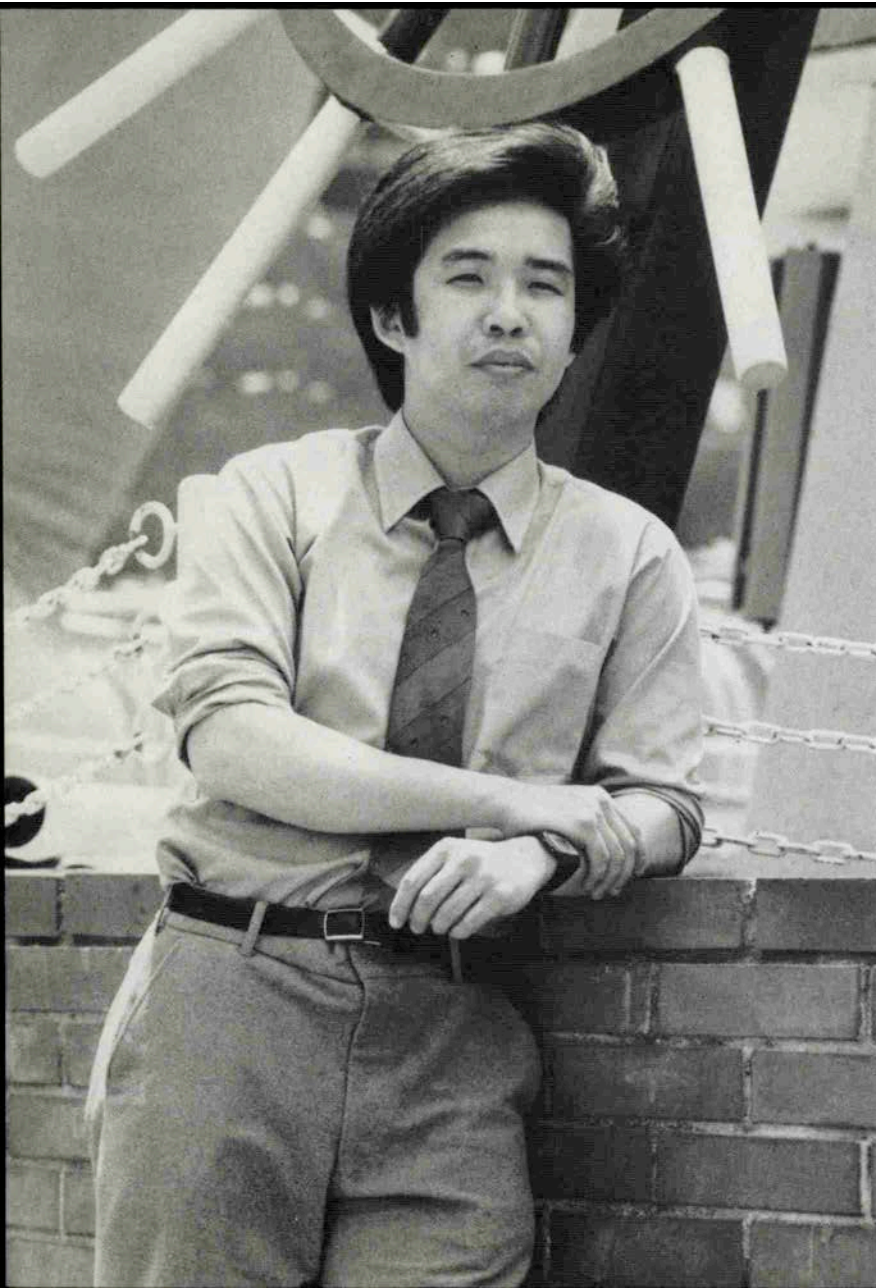


## 演劇活動も地方の時代に

福嶋 聡

(劇団神戸)カメラ・松原 卓也

元町風月堂ホールですっかり定着した劇団神戸(夏目俊二主宰)が演じるところの、コメディ・ド・フウゲツも五年目を迎えた。五月に催された今年の第一弾ウディ・アレン作「ボギーノ俺も男だ」では、作品の主人公とキャラクターが合い、初めての主役をこなした福嶋聡さん。長田高校在学中から演劇部で手腕を発揮、高校演劇では近畿大会まで出場した。そしてストリートで京大の哲学へ入るという秀才。尤もご本人は「頭が良いのと点数がよくとれるのは別です。テストはひとつのゲームだから」と。大学三年の春、黒沢明監督の「影武者」にエキストラ応募し、馬術部へ籍を置いていたことが幸いして、一カ月半のロケに参加した。多勢の俳優志願者と接し、東京へ出て大手の新劇に入って、生活のためにアルバイトをするのも、神戸で昼間働きながら、夜演劇活動が続けるのも形態として同じだと悟る。ジュンク堂書店で、人文科学と洋書を担当するのが昼の顔。今回は作品のキャラクターにのった部分があった、役者としてはまだまだ。しかし何かがふつきたように思うので次回が楽しみ」と夏目俊二評。一番演りたい役は? 「ハムレット。だってハムレットが男前だったなんて一行も書かれていませんから(笑)」酒豪の二十四歳。







▲クイーン神戸フェスティバルで、山永弘乃さんが代表クイーンに



▲民族衣装もあでやかなプリンセス神戸のお嬢さん

第13回神戸まつり

## 華やかに開幕

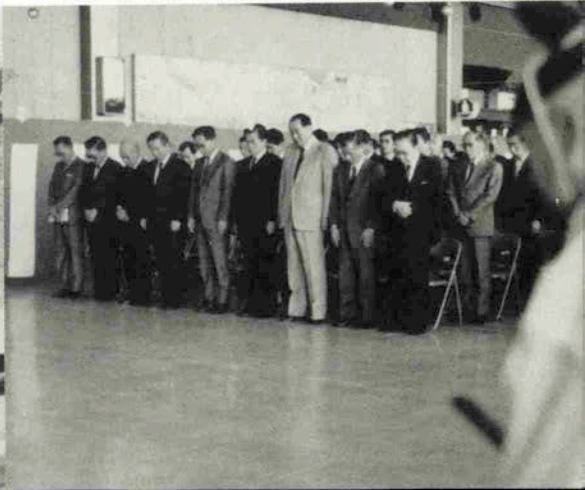
●コウベスナップ

「花と海と太陽の祭典」第13回神戸まつりが、5月13日～15日の3日間、神戸各地区で盛大に行われた。神戸まつりのトップをきって8日に神戸港カッターレースが、また13日は恒例のクイーン神戸フェスティバルが行われ、神戸まつりの開幕を華やかに告げた。翌14日はポートターミナルにおいて神戸港繁栄と海上安全の祈願祭も開催された。

▼ミナトの行事として人気上昇。今年は55チーム622名が参加して熱戦が展開



▼神戸港の繁栄と海上安全の願いをこめて祈願祭が開催



☆ある集い

## CHAIN GROUP



58年5月 ポートアイランドにて

## 汽笛と錨、海の 男たちの集い

7月20日は、海の記念日。神戸港に棲む「かもめ」的な存在、と自他共に認める海の男たちによって結成された「チェーングループ」は、この夏で20年目を迎えた。会員は、大小タグボートの船長、甲板長やしけの船長、もと船乗り港めぐり遊覧船の船長と、いずれも神戸港と共に青春を生きてきた海を愛する男たちの集まりだ。

淡路、九州、広島、岡山など、故郷をあとに、青雲の志を抱いて神戸へやってきて、それぞれが港で知り合った。全盛時代のミナト町・神戸をそこにかいまみることもできる。かつては、仕事中でも船で走っていても、汽笛ひとつで意志伝達の合図ができたという。「気さくな仲間のひと言につきますね」と、野田山船長が言うと、「どんなに離れていても、会えばすぐにワイワイガヤガヤ、ざつくばらんな話になる」「理屈でなくミナトが仲間の絆といえばいいのでしょうか」と、角本さん。海の男たちの熱い友情が感じられる。20年を経た今、海の男たちも40歳代を迎え、代は替ってファミリー全員で43名を数える大所帯となった。

幾多の時代の波にもまれながらも、たくましく生きる神戸港のかもめたちに幸いあれ！

(合わせて35頁もお読みください)



□吉村由美著「魅せられし時のために」  
出版記念パーティー

# 美しき言葉たちよ 大空へ翔きなさい



親しい人たちに囲まれた吉村さん(左から2人目)

「六甲は、白い夏の光にみたされている。今年の初夏から真夏にかけて、不思議にグリーンの葉かげがさやめて見えた。去っていったいくつかの夏の日々は、私の思惟に深く映じる……」

エッセイ集「魅せられし時のために」から「夏の魅惑」の章が著者の吉村由美さん自身によって朗読される。

さわめきが一瞬とまどい、やがて会場は静謐に包まれた。ゆるやかな時の流れにのって朗読はつづく……。

五月二十五日、神戸・金龍閣でエッセイスト吉村由美さんの「音楽・美術・旅・風景のエッセイ」『魅せられし時のために』出版記念パーティーが開かれた。

司会者による開会の辞のあと、来賓祝辞が六人からあった。大学時代の恩師で、エッセイ集の解説を執筆された水谷昭夫関西学院大学教授は「美しさを喪くした音楽や絵画の氾濫する時代に、美しいもののへ眼を向けさせてくれる作品です。文章から感情が伝わって来ます。また、ギョスタープ・モロイやベートーヴェンなどにも触れているが、決して過去を書いているのではない。キツとして前を見ているのです。これからも未来を開いて行つて欲しい」と、愛弟子でもある吉村さんの人と作品を細やかに紹介、称賛を惜しまなかった。

他にも小林祥晃神戸新聞出版センター部長、岩本三保「関西文学」代表代理、桐山秀樹「トラベル・ジャーナル」編集部記者、さらに、ジニヤスカレッジ講師代表、小泉美喜子月刊神戸つ子副編集長各氏が心の通った祝辞を述べた。さわやかさと和やかさが会場を行き交ったあと「五月の美しい夕暮れどきに温かな心で出会った人たちにお集まりいただきました」と吉村さんは、この夜の女主人公として喜びの言葉を参会者に語りかけた。それは、恩師との出会い、人と人との心の通い合い、ジニヤスカレッジのこと、文学のことに及び、「これからは多くの方に、幸せに暮らす日々のなかで、ふと淋しい時、憂いのある時に、清らかななぐさめ、安らぎを感じていただける作品を書きつづけて行きたい」と言葉を結んだとき、会場には一きわ高く拍手が起った。





(写真上) 全員での記念撮影。パーティーを通じて心のかよい合った人たちがばかりです。(写真下・左) ジニヤスカレッジの卒業生のみなさんと共に (写真下・右) 恩師の水谷関学大教授と (上段) 小誌小泉副編集長と (下段)。いずれもパーティー当夜のスナップから。

# エトランゼの 輪郭 17

## 石坂 春生

1929 / 神戸に生まれる 1951 / 関西学院大学卒業、小磯良平に師事する 1958 / 新制作展入選 1967 / 新制作協会会員となる、安井賞展に出品 (以降6回出品) 1974 / 金山賞 1976 / 画集発刊



モデル / クリスティーナ・メツガーさん(ドイツ)

### アンティークドールのような少女

眉は太く、長く、その間隔は狭く、そして唇は少し開き気味——今からおよそ100年前のアンティークドールの顔だ。もう少し前のものになると、今度は唇をきりりと結んでいる。アンティークドールのいい物は、ほとんどがドイツ生れで、フランスに伝わったのは、どうやらその後らしい。

クリスティーナさんは、そのアンティークドールと同じ眉、同じぱっちりとした目もと、同じ雰囲気を持っている。それまで、私は、アンティークドールも、一つの表現主義の所産であると思っていたのだが、彼女と出会って、それが、おそらくドイツの少女の写実であるのだということに改めて気がついた。

ジーンズの良く似合うクリスティーナさんは、スポーティーなお嬢さんだが、描いていくうちに、本来的に彼女のものである優雅さ、女らしさが漂う輪郭ができあがった。



ジーンズの少女  
55×40cm  
(鉛筆・色鉛筆・コンテ)